

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 30日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 福岡県福岡南区筑紫丘1丁目19-3

氏 名 JFEパイプライン株式会社
九州事業所 所長 倉永 文雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-834-8995

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

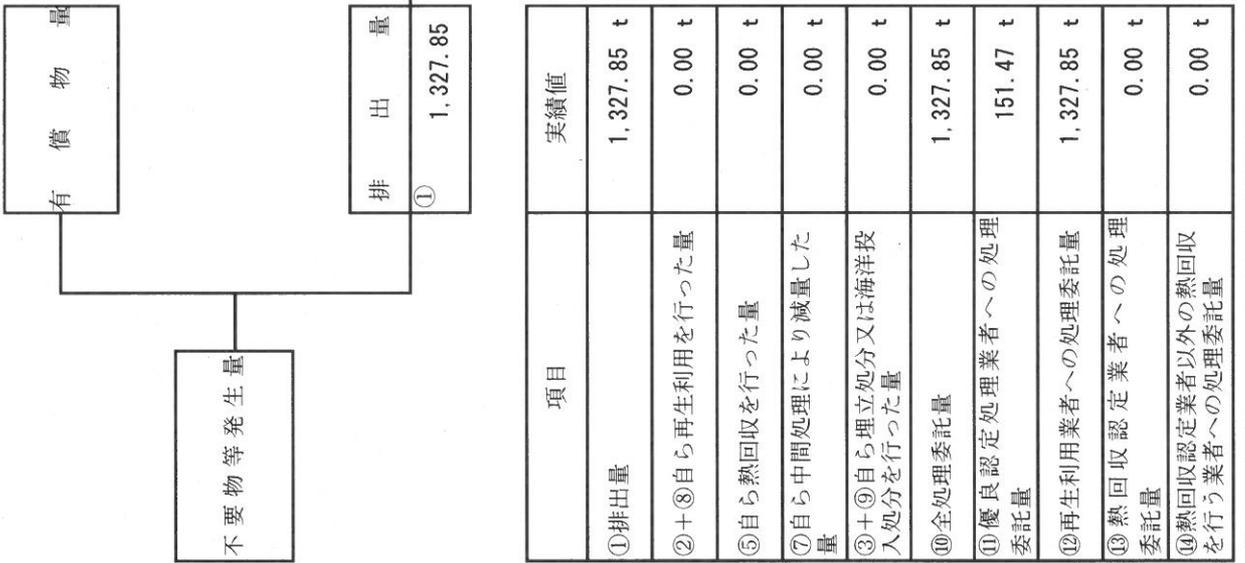
事業場の名称	JFEパイプライン株式会社 九州事業所
事業場の所在地	鹿児島市武2丁目 42-1
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,025 t	全処理委託量	1,025 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	500 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,025 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類： アスファルトがら)

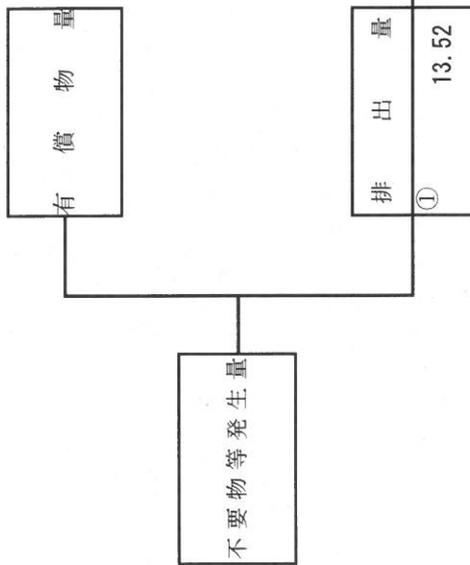
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	1,327.85 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1,327.85 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	151.47 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,327.85 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

計画の実施状況

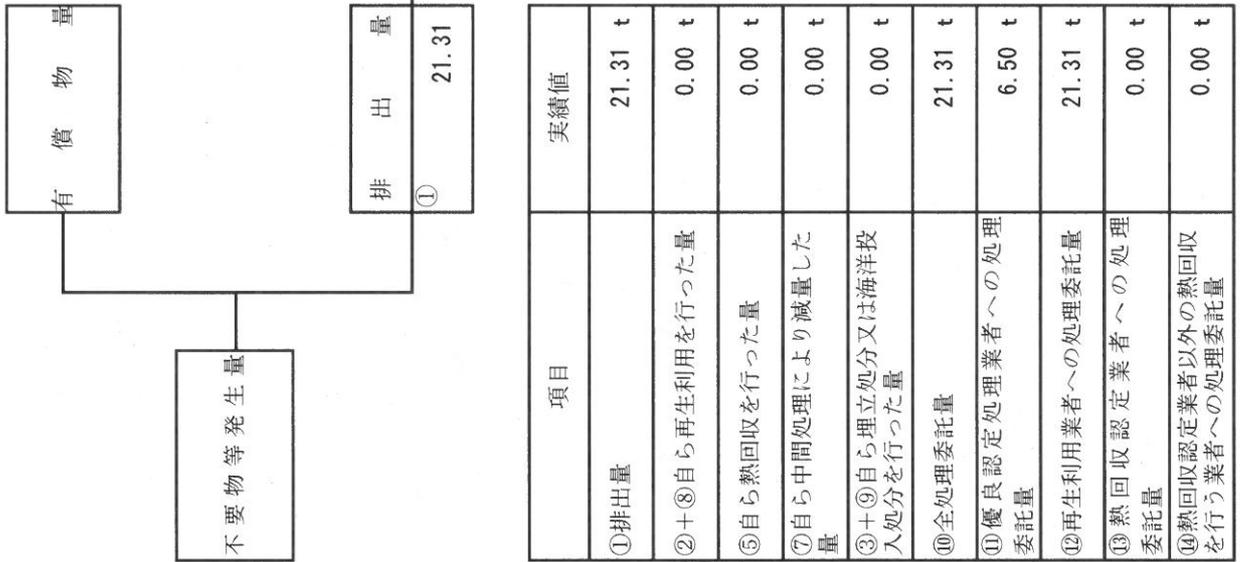
(産業廃棄物の種類：コンクリートから)



項目	実績値
①排出量	13.52 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	13.52 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.52 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.52 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： 汚泥)

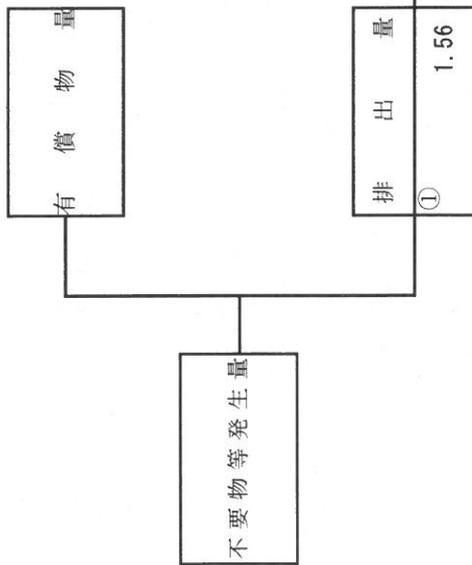
計画の実施状況



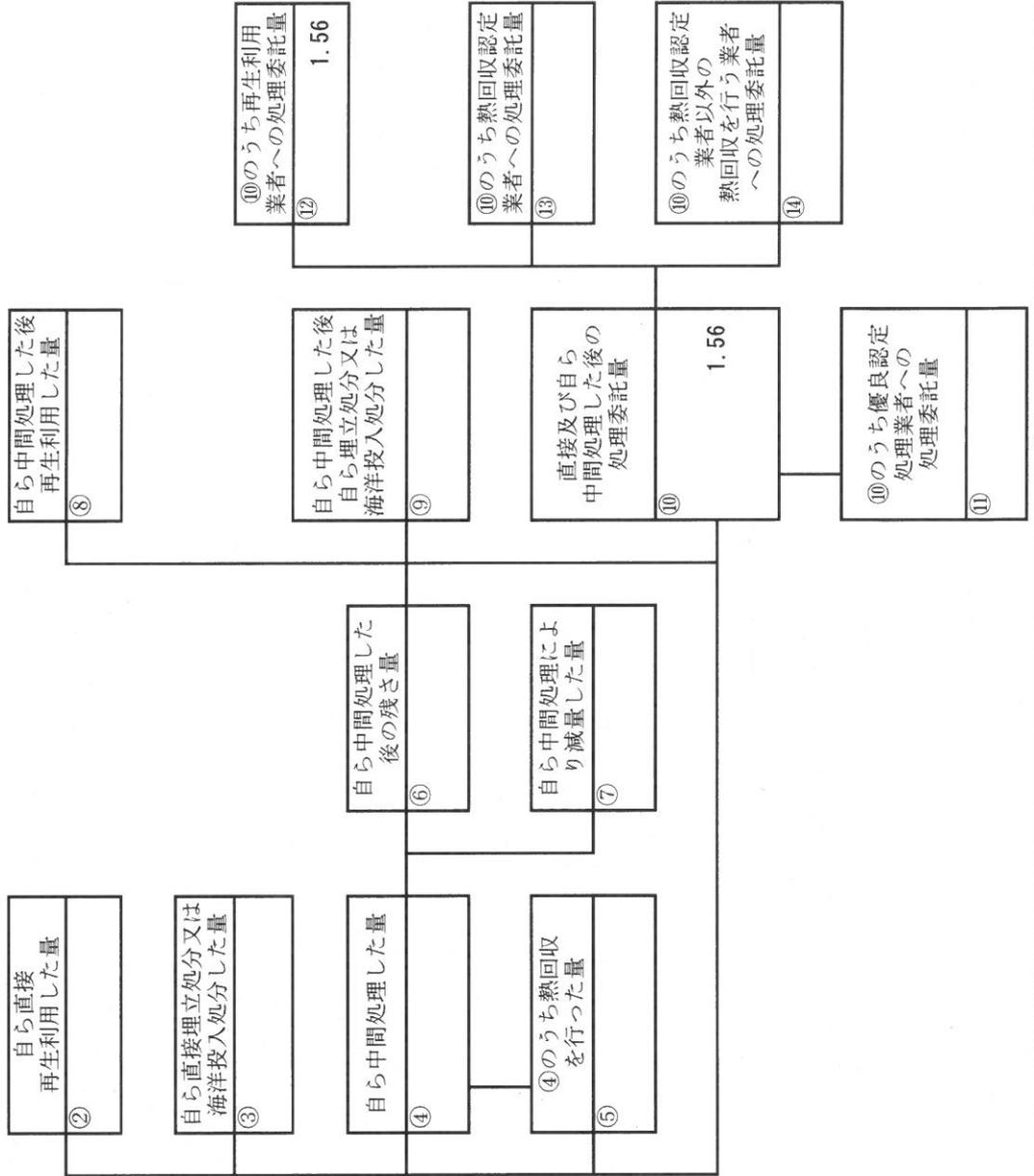
項目	実績値
①排出量	21.31 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	21.31 t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	6.50 t
⑩再生利用業者への処理委託量	21.31 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： 混合)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	1.56 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.56 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.56 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位：トン（t）

①現状【前年度(令和6年度)実績】 ②計画【目標】	産業廃棄物の種類						排出量合計
	汚泥	アスファルトがら	コンクリートがら	型混合廃棄物（管理む）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状 排出量	21.310	1327.850	13.520	1.560			1364.240
②計画 排出量	20.000	1000.000	5.000	1.000			1026.000
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
②計画 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
②計画 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
②計画 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
②計画 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
全処理委託量							
①現状	優良認定処理業者への処理委託量		6.500	151.470	13.520	0.000	171.490
	再生利用業者への処理委託量		21.310	1327.850	13.520	1.560	1364.240
	認定熱回収業者への処理委託量		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全処理委託量							
②計画	優良認定処理業者への処理委託量		5.000	10.000	2.000	0.000	17.000
	再生利用業者への処理委託量		20.000	1000.000	5.000	1.000	1026.000
	認定熱回収業者への処理委託量		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

